



南行通信

令和7年1月8日
校長 中村 由美子



～やさしさいっぱい 夢いっぱい 元気いっぱい～



今年もよろしくお願ひします。

2025年が始まりました。保護者の皆様、地域の皆様から支えられ、ともに歩いてゆく南行徳小学校となりますよう、今年度ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

1月6日正門で立っていると、「あけましておめでとうございます、今年もよろしくお願ひします。」と多くの子供たちからあいさつをされました。長期間の休み明けは、子供たちが元気に登校してくてくれるのかと、不安でいっぱいです。そんな中で、元気にあいさつをする子供たちの姿に一安心でした。顔は笑顔でも、心は心配や不安に思いながら登校した子もいるのではないかと思います。お子様の様子について、ご心配なことがありましたら、どうぞ学校までご連絡下さい。

さて、あいさつにはどんな意味があるのでしょうか。

あいさつを漢字で書くと、「挨拶」です。「挨」の字は「おす」「ひらく」「推しはかる」、「近づく」、「触れる」などの意味があります。また「拶」の字は、「せまる」「おしよせる」という意味のある漢字です。「挨」自分の心を積極的に開き相手に近づく、「拶」人の心に迫ることから「挨拶」が人間関係を築く第一歩となっているのです。

では、あいさつにはどんな良さがあるのでしょうか。

感謝を伝えられる相手の行為の中にある好意を推しはかり、感謝の気持ちを込めてありがとうございますとあいさつをすれば相手はさらに好意を示してくれます。

存在を認めていることを示す相手の存在を認め、声をかけようと思ってあいさつをします。あいさつをしないということは、相手が存在しないかのように扱っていること（無視）や相手と関わりたくない意思表示しているようになってしまいます。

関係を作るきっかけになるあいさつは、関係づくりのスタート。あいさつをきっかけに、自分の世界を広げてくれたり、大切にしたいと思ったりする人に出会えるかもしれません。

印象の良さを与える出会ってすぐのあいさつで相手に良い印象を持ってもらえたら、その後もその第一印象が持続すると言われています。

緊張をほぐすことができる緊張する場面でもあいさつの声を出すことで自分の緊張を解き、相手の緊張もほぐすことができます。

小さな声でも大きな声でも笑顔でも下を向いていても、あいさつをすることでコミュニケーションが始まります。どんなに時代が変わってもコミュニケーションに必要不可欠です。あいさつをすると気持ちよい、さらに、あいさつをされるともっと気持ちよくなる経験を積みしていきたいと考えます。大人が進んであいさつをし、あいさつの良さを子供たちに伝えていきたいと思ひます。



「手伝います」と声をかけてみる

4年生が、「車いす」「アイマスク」の体験をしました。友達が乗った車いすを押したり、アイマスクをした友達を案内する体験をしたりしました。小さな段差を車いすで乗り越えることやアイマスクをしている時の階段の上り下りがどんなに大変か実感をしていました。授業後は「困っている人がいたら、手伝いますと声をかけてみようと思う」「おばあちゃんの車いすを押してみよう」などの感想がありました。